



四季 ~四中の季節~

第6号(9月)

『正しく学び 自他を尊重し たくましく生きる力を育み ふるさとと共に歩む』

令和7年9月5日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

「地域の支え、心の支え」

校長 関 勝 志

2学期が始まり、生徒が笑顔で登校してくる姿を見てほっとしました。宿題が終わっていない生徒もいたかもしれませんが、元気に登校してくれたらそれだけでいいんです。もし、何か不安や辛いことがあったら、誰かに胸の内を話してほしいと思います。久しぶりに、みんなが再会し、学校生活が再開しました。

7月に学習と生活についての生徒アンケートを実施しましたが、「学校生活が楽しい」と答えてくれた生徒は96%でした。とてもうれしいことです。ちなみに昨年は91%でした。この2学期は、例年よりも一足早い合唱コンクールに続いて、修学旅行や校外学習、職場体験、創立60周年記念式典など、行事が多く予定されており、生徒たちの活躍の場がたくさんあります。力を合わせ、さらに楽しく充実した学校生活になることを期待しています。

もう一つ、生徒アンケートからうれしいと感じたのは、「愛校心や地域に感謝する意識を高めている」と答えてくれた生徒が92%と、とても多かったことです。

小平市の教育目標、目指す人間像は、「自立」「貢献」「共生」です。四中の目標もこれに基づいています。そして、四中生は様々な場面で地域に「貢献」しています。一例をあげると、地域行事への参加です。例年、四小地区青少対まつりや防災イベントには演劇部が、もちつき大会には野球部が、十小地区青少対まつりには陸上部が、自衛隊小平駐屯地の納涼祭にはダンス部や吹奏楽部が参加し活躍しています。また、玉川上水の落ち葉はきには、100名以上の部活動生徒が参加しています。もちろん、部活動以外でも、個人的に参加しているボランティア精神あふれる生徒もいます。子どもたちが地域を支えています。

今月末、9月27日(土)と28日(日)に学園西町小平神明宮の例大祭が行われます。この地域で長年受け継がれてきている伝統的な行事です。一橋大学の北門広場には模擬店も出ているので、きっとお祭りに行ったことがある生徒は多いと思います。28日(日)には、神輿渡御といって、たくさんの人が神輿をかついで町を練り歩きます。これは、地域の守り神である氏神さまの力を町中に振りまいて災いを祓い、豊作を願うため、とされています。

そして、神輿渡御には子どもが担ぐ神輿も出ます。ぜひ生徒にも参加して神輿を担いでほしいと思っています。毎年、国際交流の一環として海外から来られた方々も神輿を担いでいるようです。部活動でも、個人でも、少しの時間でも構わないので、一人でも多くの四中生が参加してくれることを期待しています。神さまの存在を信じるかどうかは別としても、伝統を受け継ぐ体験はとても貴重なものです。



私たちは、信仰心に関わらず、神さまという言葉あまり意識することなく自然に使っています。神さまとはどういう存在でしょうか。神さまのイメージは人間の力や自然の力を超越した絶対的な存在として、人々から畏敬され崇拜される対象です。お祭りだけでなく、初詣や節分、七五三のお宮参り、新しい建物を建てる際の地鎮祭など、日本の伝統行事と神さまの繋がりはとても深いです。

「どちらに(どれに)しようかな、天の神さまの言う通り」

これは何かを選ぶ際に唱えられる日本のわらべうたの一種です。迷ってすぐに決められない状況で使われます。この歌の後に続く言葉は地域によって異なっていて、多様なバリエーションがあります。例えば「なのなのなすびのハゲあたま」「ぶっとこいてぶっぶっぶっ」「鉄砲撃ってバンバンバン」「あべのべ」「柿の種」などです。

ちなみに、小平市は「どちらにしようかな、天の神さまの言う通り、あのねのね」だそうです。いまの生徒たちにはあまり知られていないようですが…。

困ったときの神頼みのように、自分では解決できない問題や困難な状況に直面したとき、神さまにお願いをする人は多いと思います。私たちは、知らず知らずのうちに神さまにお願いしたり、感謝したりしています。考えようによっては、神さまは身近な存在です。神さまがいるとしたら、それは人の心の中にいるのだと思います。いつも自分を見てくれていて、守ってくれたり、戒めてくれたり、愛してくれたり、許してくれたり、心の支えとなっている気がします。

■ 1年生校外学習について ■

1学年担当 猪俣・隠田

中学校に入学して、初めての校外学習を10月31日(金)に実施します。班単位での行動を基本として、小江戸・川越の歴史を巡る小さな旅に出かけます。夏休みには、その事前学習としてクラスの全員に異なる見学地・テーマを分担して、ポスターにまとめる調べ学習を行いました。それぞれが責任をもって、川越の見学地について調べ、有意義な学習にすることができました。

今週、9月4日(木)から校外学習実行委員会の活動が始まります。今回の校外学習は、実行委員会が中心となってつくる初めての学年行事です。その成功に向けて週1回を目安に、みんなで準備を進めていきます。また今回の校外学習で達成してほしい目標は3つあります。「①川越の歴史を学んでくこと、②班のみんで協力して安全に行動すること、③公共のルールやマナーを守ること」です。この3つの目標全てを達成し、校外学習を大成功に終わらせてくれることを期待しています。

■ 2年生職場体験について ■

2学年担当 田村・原田

2年生は10月28日(火)から30日(木)の3日間、職場体験を実施します。

今年度も多くの事業所の方々が、四中の生徒のためにと協力していただけることになりました。事前学習ではハローワークから就職支援ナビゲーターの方を講師としてお招きし、生徒が自身の職業適性を知り、希望する職種のアンケートを取りました。

2学期に入り体験先が発表になり、今後の体験先についてや企業について、交通手段や職場体験にかかわる動き、マナー講習などを通じて「働くこと」「将来」について考えていきます。普段の学校生活とは異なり、新たな環境でコミュニケーションをとり、適切に仕事を行うことに対して、失敗しないか不安を抱える生徒も多いと思いますが、この職場体験を通じて考えた勤労観、職業観なども含め、今後どのような生き方をしていくのか、自己の進路や将来を考えるきっかけになることを期待しています。

■ 3年生修学旅行について ■

3学年担当 糸井・田所・高瀬

10月14日(火)～16日(木)の3日間、3年生は奈良・京都への修学旅行に出かけます。

5月に発足した実行委員会が中心となり、しおりの作成やルールの検討を進めてきました。話し合いは活発で、ガイダンスや保護者説明会も実行委員会が運営するなど、生徒主体で準備を重ねてきました。その姿からも、3年間で大きな成長を感じます。

スローガンは、「大仏も驚く！ 抹茶より濃い修学旅行に」です。自ら作り上げた3日間だからこそ、歴史や文化に触れたり、宿で語り合ったり、仲間と共に成長する濃い学びの時間は、かけがえのない思い出となるはずです。

■ 合唱コンクールのお知らせ ■

合唱コンクールまで1か月を切りました。いよいよ本格的に合唱練習が始まります。

昨年度に引き続き、リハーサルには小中連携教育の一環として、四中校区3校の小学6年生をお招きして3年生の合唱を鑑賞してもらいます。生徒も本番さながらの気持ちが入ることでしょう。

今年度の合唱コンクールでは、保護者の皆様に他学年の合唱も鑑賞できるようにいたしました。当日の保護者席は2階となります。他学年の鑑賞希望の方は、2階席中央通路より後方のお席で鑑賞することができます。中央通路より前方席は当該学年の保護者が優先となりますので、よろしくお願いします。

各学年入替制になります(当該学年が続く場合を除きます)が、他学年の鑑賞希望の方は、一度ホールを出られまして、再入場をお願いいたします。

■ 生徒の活躍 ■

＜吹奏楽部＞ 第65回東京都中学生吹奏楽コンクール
金賞(4年連続)



【10月の主な行事予定】

2日	合唱コンクール	18日	土曜授業日	体験活動の日
3日	月曜日の授業	20日	振替休業日	
6日	中央委員会	21日～23日	学校公開	
8日	生徒総会リハーサル	24日	3年進路説明会	
9日	生徒総会	27日	生徒会朝礼	
10日	安全指導	28日～30日	2年職場体験	
14日～16日	3年修学旅行	29日～	3年三者面談	
15日～17日	2年職場体験事前訪問	31日	1年校外学習	
17日	避難訓練			